

## 令和6年度2学期始業式 式辞

皆さん、おはようございます。校長の川崎芳徳です。

今日、44日間の夏休み中、大きな事故等もなく元気な皆さんと再会できたことを、心から嬉しく思っています。

今朝も正門で、皆さんの笑顔での挨拶から大きなエネルギーをいただきました。今学期もよろしく願います。

さて、どのような夏休みを過ごされましたか。

私も、部活動の公式戦など、皆さんの活動を可能な範囲で観させていただきました。応援に行けなかった活動の皆さんには、申し訳ありませんでした。

猛暑のグラウンドで、懸命に声を掛け合いながらプレーするソフトボール部、最後まで集中力を絶やさず走り抜いたバスケットボール部女子、水泳の近畿大会、2種目で力泳された5年次の石躍佐和さん、また、素敵なお演奏で多くの観客を魅了した吹奏楽部のコンクールでの活躍、邦楽部の、心まで清められるような演奏会での活躍、生徒会執行部は、夏休み前の「愛知サマーセミナー」に続き、園田学園女子大学で行われた「みんなのサマーセミナー」で活躍、神戸空港で見送り東日本大震災被災地支援に行かれた4年次生、石原碧さん、出野凛花さん、合田夏花さん、川島ひまりさん、西口茉凜さん、阪上晴香さん、王誉璇さんの7名の皆さん…来年1月17日で、阪神・淡路大震災から30年となりますが、このボランティア精神を絶やさず、引き継いでいってほしいと思っています。また、大阪、豊中市立芸術文化センター大ホールでは、5年次早川りささんが、世界で活躍するダンサーとの共演、見事なバレエを観させていただきました。

そして、応援には行けなかったですが、石川県で行われた「全国中学生カヌー Sprint 選手権大会」において、2人乗りで日本一に輝いたカヌー部3年の中西由依さん、衛藤楓さん、1人乗りで5位に入った中西由依さん、素晴らしいの一言です！ 日本一です！！

…皆さんの力には、驚かされます。これらの結果を掴み取るまで、あのプレー、あの演奏、あの演技、あの発表、あの「志」を成し遂げるまでの道は、決してたやすいことではなかったことでしょう。目標が高ければ高いほど、その実現のための取組は厳しく険しいものだったことでしょう。

山登りをイメージしてみてください…毎日、学校からも目にする「六甲山」、標高931mを目指す歩み、兵庫県で最も高い山、「氷ノ山」、標高1,510mを目指す歩み、日本最高峰、標高3,776mの「富士山」を目指す歩み、世界最高峰、ヒマラヤ山脈にある標高8,848mの「エベレスト」を目指す歩み…同じ準備で大丈夫でしょうか？ そんなことはないですね。エベレスト山頂を目指すなら、周到な準備はもちろん、「命」をかける“覚悟”も必要となるこ

とでしょう。

想像を越える多くの準備と労力…そして、見事達成した時には、その者にしか見ることのできない景色、吸えない空気…ただ、目指した全員が山頂に立ち、目標が達成できるわけではありません。

しかし皆さん、目標が達成できなければ、そのチャレンジは失敗なのでしょうか。いえ、**失敗とは、しっかりと自らと向き合った目標を設定せず、全力で挑戦することに取り組まないことであり、何より大切なことは、目標を定め、本気で向かっていく取組そのものなのであります。その道中、過程で、さまざま葛藤する中で、悩みながらも歩みを進め獲得したことこそが、皆さんの血となり肉となり、人格、人間性を作り上げ向上させ、その後の長い人生、将来の大きな飛躍、ビッグバンへの確かで巨大なエネルギーの源となっていくのです。**

このことから、**本気のチャレンジャーは全員成功者なのです。最も重要なのは、自らを練り上げる、本物の人物となる、人種や国境など超越し、「人類」の一員としてこの地に立たせていただけたことへの感謝を忘れず、「人として」どこまで成長できるか、なのであります。**

輝く未来に向かい、自らと対話しながら挑戦し続け、魂を躍動させてください。

皆さん、夏休み中、海外をはじめ遠出をされた人も多いのではないのでしょうか。私は近場、車が好きなので、マイカーで愛知県にあります「**トヨタ産業技術記念館**」と「**トヨタ博物館**」に初めて行ってきました。

そこで、様々な車を見ることができたのですが、その一角で、「**鍛造（たんぞう）**」という技術が実演で紹介されているのを見ることができました。

皆さん、「鍛造」って聞いたことがありますか？…金属を叩（たた）いて圧力を加えることで強度を高め、目的の形状に成形する技術なのです…「**鉄は熱いうちに打て**」って言葉がありますね。高温にした金属をハンマーやプレスで叩くことで、内部の空隙（くうげき：すき間）をつぶし、結晶を微細化し、結晶の方向を整えることで強度が高まるのだそうです…叩くんですね。日本刀を作る様子…刀鍛冶（かたなかじ）と呼ばれる職人さんが…「カン！カン！カン！」…確かに叩いていますね。

やはり、**強くなるためには、適切なタイミングに適度なプレッシャー、圧力を受けることが必要**なんだなと改めて教えられました。

そもそも、「**鍛錬**」ということばを調べてみてください…「金属を打って鍛えること、厳しい訓練や修養を積んで、技や芸、心身を強く鍛えること」って書かれています。

皆さん、どうか“強く”“たくましく”“タフ”に成長して行ってください。ストレス、プレッシャーがかかった時に、「自らの成長に必要なものなんだ」

と受け止められる思考のチャンネルを持ち合わせていてください。

そしてきっと、強く、たくましく、タフな人間に成長していくにしたがって、  
どんどんと優しい人間になっていることにも気づくことでしょう。**本当に強い人、鍛錬を重ねてきた人は、人には優しくなるよう創られているのだ**と思います。

アメリカの小説家、「大いなる眠り」、「さらば愛しき女よ」など多くの名作を生んだ「レイモンド・チャンドラー」が有名な言葉を残しています。

**“強くなければ生きていけない。優しくなければ生きる価値がない”**

どうか参考にしてください。

2学期、今日を入れて114日、土・日・祝日を除けば、何と78日…あっという間でしょう。学びを深め、学校行事を盛り上げ成功させ、部活に励み、皆で力を合わせ、充実の学期にしていきましょう。

これまでの努力が実を結ぶ**「実りの秋」**となりますことを祈念しまして、令和6年度第2学期始業式の式辞とします。

令和6年9月2日

県立芦屋国際中等教育学校長 川崎 芳徳